

当院における急性胆のう炎の手術成績の検討について

1. 研究の対象

2011年1月1日～2024年12月31日までに当院で急性胆のう炎の緊急手術を受けられた方

2. 研究の目的・方法

急性胆嚢炎に対する手術症例は近年増加傾向で、手術至適時期や内科的治療を含めた治療方法に関しては、Tokyo guideline 2018に提唱されています。近年では、重症急性胆嚢炎においても腹腔鏡下胆のう摘出術が推奨され、外科的方法が重要な位置を占めています。当院では、急性胆のう炎に対して積極的に外科治療を選択しています。その治療成績を全国に報告することで、新たな治療指針提唱する可能性があります。故に、当院における急性胆のう炎で緊急手術を受けた患者さんの治療成績を集積することを目的としています。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

本研究は全て診療録(カルテ)情報と画像検査を転記して行います。カルテから転記する内容は身長、体重、性別、血液検査(白血球、赤血球、血小板、肝機能・腎機能検査など)、病理学的評価等です。また、予後調査をカルテ情報転記できない場合は、かかりつけ医院に返信用はがき、もしくは電話で該当者の病歴を問い合わせます。それでも、予後の確認ができない場合は、患者さんの自宅や携帯電話に直接連絡します。なお、個人が特定できる情報は転記しません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:
研究責任者: 尾道市平原1丁目10-23 JA尾道総合病院
診療部長・消化器外科 主任部長 大下 彰彦
TEL:0848-22-8111 FAX:0848-23-3214

○この調査研究は特定企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。